



マネージャ側：共有回線モード で Cisco Unified CallManager Assistant を使用した電話機の 使用方法

Cisco Unified CallManager Assistant は、電話機の機能を拡張し、マネージャとアシスタントによるコール処理をより効率的にします。システム管理者により、共有回線モードまたはプロキシ回線モードのどちらかで動作するように Cisco Unified CallManager Assistant 設定が選択されています。共有回線モードでは、マネージャとアシスタントには同じ電話番号が割り当てられます。アシスタントは、共有番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。プロキシ回線モードでは、マネージャには電話番号が割り当てられ、アシスタントにはプロキシとして使用する代行電話番号が割り当てられます。アシスタントは、プロキシ番号を使用して、マネージャに代わってコールを処理します。最初に、システム管理者が選択したモードを識別する必要があります。[第 1 章「Cisco Unified CallManager Assistant の概要」](#)を参照してください。

Cisco Unified CallManager Assistant では、共有回線モードに設定されているマネージャは、次の機能を利用できます。

- Cisco Unified IP Phone でのコール処理の拡張機能：IP Phone の LCD スクリーンで新しいソフトキーとステータス ウィンドウを使用できる。
- インターコム機能：インターコム コールをアシスタントに発信でき、アシスタントからのインターコム コールを受信できる。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

- Web ベースの機能設定: マネージャの設定画面を使用して転送先をカスタマイズできる。代わりに、アシスタントが自分に代わって Assistant Console からこの機能を設定できます。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- マネージャの電話機で Cisco Unified CallManager Assistant モードを識別する方法 (P.1-5)
- コールの即時転送および転送の方法 (P.5-3)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P.5-5)
- 電話機での呼出音の消音方法 (P.5-6)
- マネージャの設定画面へのアクセス方法 (マネージャ側) (P.7-2)

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco エクステンション モビリティで Cisco Unified CallManager Assistant を使用するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco エクステンション モビリティにログインします。

ステップ 2 サービス メニューから [Assistant Service] を選択します。

Cisco エクステンション モビリティの機能の詳細については、『Cisco IP Phone 7960G/7940G 電話ガイド』を参照してください。

関連項目

- コールの即時転送および転送の方法 (P.5-3)
- インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 (P.5-5)
- 電話機での呼出音の消音方法 (P.5-6)

コールの即時転送および転送の方法

マネージャ側

IP Phone の Cisco Unified CallManager Assistant ソフトキーを使用して、アクティブコールの即時転送、転送、および別の処理を行うことができます。

この項では、次のトピックについて説明します。

- [着信コールを別の番号へ即時転送する方法 \(P.5-3\)](#)
- [ボイスメッセージサービスへのコール転送方法 \(P.5-4\)](#)

着信コールを別の番号へ即時転送する方法

マネージャ側

[**即転送**] ソフトキーを押すと、呼び出し中、接続済み、または保留中のコールをマネージャの電話機から、即時転送先として設定されている別の電話番号に転送できます。マネージャまたはアシスタントはマネージャの設定画面からこの転送先を変更できます。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.5-2\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.5-3\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.5-5\)](#)
- [マネージャの転送先設定方法 \(P.7-5\)](#)

ボイス メッセージ サービスへのコール転送方法

マネージャ側

[VM 転送] ソフトキーを押すと、コールをただちに電話機からボイス メッセージ サービスに送信できます。保留中のコールをボイス メッセージ サービスに転送できます。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.5-2\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.5-3\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.5-5\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.5-6\)](#)

インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法

マネージャ側

オプション機能であるインターコム機能を使用すると、インターコム回線を使用してアシスタントと会話ができます。この機能は、システム管理者によって設定されます。この機能が見当たらない場合は、必要に応じて、システム管理者にお問い合わせください。

Cisco Unified IP Phone でインターコム コールを発信するには、アシスタントに対応した**インターコム短縮ダイヤルボタン**を押します。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントが他のコールに出ていない場合は、両者のスピーカフォンが同時にオープンします。これで、電話機のスピーカフォン、ヘッドセット、または受話器を使用して会話ができます。これは、アシスタント側でマネージャにインターコム コールを発信する場合も同じです。

マネージャ側でインターコム コールを開始したときにアシスタントが他のコールに出ていて話し中の場合には、インターコム コールがアシスタントの電話機で鳴るので手動で応答する必要があります。また、他のコールに出ているマネージャにアシスタントがインターコム コールを発信した場合も、手動で応答する必要があります。

インターコム コールを終了するには、電話を切ります（またはスピーカ ボタンかヘッドセット ボタンを押します）。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.5-2\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.5-3\)](#)
- [電話機での呼出音の消音方法 \(P.5-6\)](#)

電話機での呼出音の消音方法

マネージャ側

電話機の呼出音を消音するには、[サイレント] ソフトキーを押して、サイレント機能のオン / オフを切り替えます。この機能がオンの場合、Cisco Unified IP Phone の呼出音は使用できません。サイレント機能を使用すると、インターコム回線など、電話機のすべての回線で呼出音が無効になります。この機能は、Cisco Unified IP Phone の LCD スクリーンの Cisco Unified CallManager Assistant ステータス ウィンドウ内にベルの形のアイコンで表されます。線で消されたベルのアイコンは、機能がオンで IP Phone での呼出音が無効であることを示します。マネージャの IP Phone では呼出音が鳴りませんが、アシスタントの IP Phone では鳴ります。ベルの形のアイコンは、機能がオフで呼出音が有効であることを示します。

初期のデフォルトではオフに設定されています。

関連項目

- [Cisco エクステンション モビリティの使用法 \(P.5-2\)](#)
- [コールの即時転送および転送の方法 \(P.5-3\)](#)
- [インターコム機能を使用してアシスタントと会話する方法 \(P.5-5\)](#)